

# 崇徳興仁



SOTOKU

同窓会だより

NO.

18

2006年（平成18年）11月10日 崇徳学園同窓会本部発行  
崇徳学園同窓会ホームページ <http://www.soutoku-ob.net>



▲ 整備されてきた崇徳中・高等学校。左側と中央が新築された1、2号館。右は被爆後に修復された講堂。（昭和34年「広島私学」より）

本校の創立は明治8年（1875年）に浄土真宗篤信家の護法興業悲願から誕生し、崇徳学園は今年で一三一年の輝かしい歴史と伝統を誇る名門校に成長した。同窓生の数も平成18年3月現在延べ三万二、三九人にのぼり、国内外の幅広い分野で活躍を続けている。半面教育界に目をやれば年々押し寄せ、少子化の波に伴い、将来の私学経営の根幹が問われている。こうした中で、わが学園は12年4月から中高一貫教育を取り入れ、公立高校では難しい「基礎・発展・飛躍」の三段階からなる独自の教育プログラムを採用。開学以来、親鸞聖人の教えである「崇徳興仁」の教育理念に沿って、引き続き教育成果とスポーツ両分野での飛躍的な伸展を切に願いたい……。

## CONTENTS

奥田会長あいさつ	…… (P.2)
高橋理事長あいさつ	…… (P.2)
鳴川校長あいさつ	…… (P.3)
今年度の合格状況	…… (P.4)
全国大会出場クラブ紹介	…… (P.5)
Pick Up同窓生	…… (P.6)
同窓会この一年	…… (P.8)
がんばれ！崇徳健児	…… (P.8)

## 崇徳同窓会に感謝の思い



崇徳学園同窓会会長

奥田 耕造氏

(昭和40年卒)

本日の同窓会総会を持ちまして私の同窓会会長としての任期が終了し、新同窓会長を選出させていただきました。二期八年の間、皆様にはたくさんのご指導、ご鞭撻を賜り同窓会の運営に携わることができましたことに心より感謝を申し上げます。また、関係の皆様にはご迷惑やご不便をおかけしたことも多々あったのではないかと、バトンを渡した今になって反省と安堵その双方の思いがごみ上げております。本当にお世話になりありがとうございます。同窓会が「ご縁」となった新しい出会いや、なつかしい恩師の先生方や旧友たちとの再会は常に新鮮であり、多方面で活躍されている大勢の同窓生のみなさんの存在は卒業生として心強く感じることができました。崇徳学園は近年中・高一貫教育を基本方針に取り組み、来春がその六年生コースから最初の卒業生を送り出す年となります。その間、徹底した指導に取り組まれている先生方もこの結果を楽しみにされておられることと思います。また少子化の影響により生徒募集活動に厳さが増す中、これらの状況が今後の崇徳学園の方向性を決めていく大切な要素になると思います。鳴川校長を要とし教職員の皆さんが一丸となって取り組まれたいなる躍進を期待したいと思います。

また、クラブ活動ではボクシング部の福原徳光君がインターハイ・国体で全国優勝(二冠)を果たしたボクシング部を始め、柔道部、バレー部、体操競技部、アメリカンフットボール部、ラグビー部、文化部では久しぶりにگریークラブが全国大会へ出場しました。また、硬式野球部も夏の大会に続き秋季広島大会でも決勝まで勝ち上がり健闘してくれました。進路状況として大学入試に於ては高いレベルの難関大学を合格突破する生徒も年々増加しており、日頃から情熱を持ったご指導を続けておられる進路指導活動の結果であると心より感謝申し上げます。

同窓会も変革の中で、特に若い同窓生の方々の活発な交流による同窓の輪を広げること、つまりは「学園への永続的なサポート的な組織」になるという活動の目標を明確にして取り組んでいただければと願っております。最後に本日の同窓会総会、懇親会開催にあたりご協力賜りました学校関係者、同窓生の皆様、チケット販売で奔走いただいた各クラブOB会組織の皆様、本年度の当番幹事である平成六年卒業の皆様は心より御礼申し上げます。

## 生き残りをかけた改革が必要です



崇徳学園理事長

高橋 乗宣氏

(昭和33年卒)

澄みきつた青空が天空いっぱいには拡がって、秋がたけなわとなっております。この時期に、例年、崇徳学園の同窓会が開催され、懐かしい顔ぶれが相集い、楽しい会話がはずみます。今年もその季節が巡ってきました。同窓の皆様には、引き続きご壮健でご活躍のこととお慶び申し上げます。さて、理事会や評議会、さらには毎月の企画会議等を主宰するために訪れている母校ですが、年々、明るさと活気が増してきているように思っています。生徒たちが大きな声で挨拶を送ってくると、こちらまで若返るような爽やかさを感じます。鳴川校長ほか、教職員の方々のたゆまぬご努力のおかげだと、こころより感謝いたします。

文武ともに往年の力が蘇りつつあることは、なんといつても心強いことです。今年の進学実績は、現役生の東大入学をはじめ、国公立、有名私立に大量の合格者を送ることができました。昨年に引き続きの実績であり、安定的な実力になってきているものと喜んでおります。またスポーツでは、バレーボール、柔道を筆頭として、ボクシング・体操・弓道などもよく健闘しております。野球も、来春の甲子園出場を期待できそうですとの報告を受けております。狭い敷地なので練習には不便も多いことと思うのですが、先生方のご指導と生徒たちの頑張りにより期待しているところと見えます。

一方、少子化の影響は予想以上に厳しいものがあります。学園の近くに競合校が出現したことの影響もあって、今年の入学者は高校でも定員割れとなり、総生徒数が1800人を割り込んでしまいました。直ちに経営に影響が出るというのではありませんが、この傾向は今後加速すると予想され、やがては経営にも深刻な影響が出てくるものと懸念されます。岡山委員会(長期ビジョン策定委員会)の試算では、5年以内に総生徒数が1400人を割り込むこともありうるという警鐘が鳴らされております。これは決して極端な想定ではないと考えているところです。

こうした厳しい環境の中で学園が生き残っていくための方途を探り出し、着実に実行していくことが急務となっております。崇徳の伝統を踏み外さないようにしながら、教育内容をさらに多様化すると、男女共学を視野に入れるなど、思い切った改革に取り組まねばならないと考えております。同窓の皆様には、今後とも引き続き熱いご支援をお願いいたします。とも、機会があれば是非とも母校を訪問し、あるいは試合の応援に行くなどして、後輩たちを大いに激励していただきたいと思いますものと念願しております。



学園の取り組みについて



崇徳中・高等学校長 鳴川 則弘氏

平成18年度の同窓会総会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。昨年、マスコミはどの紙上もチャンネルも、教育に関する諸問題がそのト...

2006年(平成18年)10月28日(土曜日) 16版 スポーツ (22) 崇徳14年ぶり白星 柳井商8強、高根勢姿消す... エース・主将が躍動 崇徳

3季ぶり栄冠の勝因 一戦必勝の精神が結実 応武 篤良さん 早稲田大学野球部監督 / 昭和52年卒(平成18年11月1日 中国新聞より)





崇徳学園同窓生の皆さんが  
さまざまな業界や地域で活躍  
されています。  
今回も一部をご紹介をさせて  
いただきます。



## 広島弁護士会会長に就任

大本和則氏



### プロフィール

大本・三宝法律事務所所長。1974年に明治大学法学部を卒業。80年4月に29歳で弁護士登録。8年間ほど開原眞弓法律事務所に籍を置き、88年大本和則法律事務所を開設。96年三宝弁護士と共同で事務所を開設した。93年度に広島弁護士会副会長。公職は広島家庭裁判所調停委員など。昭和25年12月23日生まれ。福山市出身。

昭和44年卒  
＜平成18年3月30日 広島経済レポートより＞

## 広島空港ビルディング(株)社長に就任

玉川博幸氏



### プロフィール

広島空港ビルディング社長。福岡大学法学部卒。1970年広島県庁に入庁。99年東京事務所長、01年商工労働部長、03年地域振興部長を経て、今年3月末県を定年退職し、4月1日から現職。昭和22年3月30日生まれ。三原市大和町出身。

昭和40年卒  
＜平成18年5月11日 広島経済レポートより＞

## ハイフタイム

社会に役立つなら



5月19日に開催された「広島県明るい選挙推進協議会」の総会と理事会を経て、新会長に中国新聞社の岡山和彦顧問が就任した。

「なにしろ重責ですから、一度はお断りしたのですが、こんな私でも社会のお役に立つことができるならば」と決心を固めました。引き受けたからには先頭に立って、全力を尽くしたい」

同協議会は、県内の報道機関一社や社会教育団体、市・郡などにそれぞれ設置している地域組織の明るい選挙推進協議会メンバーで構成。一四市、五郡から選出された実践委員や一三地域にある「白ばらグループ」とも連携して、「選挙人に対する全県的な投票の啓蒙促進と正しい投票への啓蒙事業」などに取り組んでいる。岡山さんは昭和16年生まれ。1963年中国新聞社に入り、取締役論説主幹などを歴任。記者時代には報道部の第一線で活躍し、選挙取材の経験もある。来年の広島市長選挙参院選に向け、気を引き締めた。

岡山 和彦さん 中国新聞社 顧問/昭和34年卒  
(平成18年6月1日 広島経済レポートより)

## 「広島ちゃけん」が好評



日本テレビが8月3日放送した「新どっちの料理ショー」の広島と大阪のお

好み焼対決に、食酢やソースなどを製造するセンナリの濃厚お好みソース「広島ちゃけん」が登場。スタジオの審査員から大好評を得て、番組終了後には注文メールが殺到するハプニングが生じた。大地克伸社長は、「地産地消を大切にしているのが社は、高野町のリンゴ、神石高原町のトマト、戸内町のタマネギに、工場敷地内から汲み上げる天然水などを加えてソースを作っております。原料確保に限界があり、大量には生産できないため、あいにく注文を断わっている状況です」

と、全国放送のテレビの影響には驚いたよう。同番組は9月14日終了したが、その余波は今も続く。東京の大手デパートや、広島では福屋、そごう、宮島口もみじ本陣、ひろしま夢ぶらざ、アンデルセンで販売するが、大半が即日完売という。「今後も生産者の顔が見えて、消費者に元気になってもらえる商品を提供したい」

大地 克伸さん センナリ(株) 社長/昭和30年卒  
(平成18年10月12日 広島経済レポートより)

## 中国ブロック 経済

田中 莊蔵さん / 昭和58年卒  
 平成18年4月14日 中国新聞  
 章栄不動産(株) 副社長

### 物件を一貫し担当競争勝ち抜く

**広島** 「土地の仕入れから建設、販売まで同じ社員が担当すれば、顧客にとって魅力的な物件をつくりやすくなる」と話すのは、マンション分譲の章栄不動産(広島市中区)の田中莊蔵副社長。

従来は同じマンションでも土地の仕入れや販売を別の社員が手掛けていたが、4月から同じ社員が一貫して担当する体制に変えた。「最初から見ていると、物件の価値を判断しやすく、適切な立地や価格、プランを顧客に提供できる」

分譲戸数は広島県で8年連続、中国地方でも2年連続トップ。「業界の競争は激しいが、商品力で勝ち抜きたい」と力を込める。(金谷明彦)



「最初から見ていると、物件の価値を判断しやすく、適切な立地や価格、プランを顧客に提供できる」

## 新人時代

奥田 耕造氏  
 ㈱オクダカメラ社長



大学卒業後、小西六写真工業(現コニカミノルタ)に入社し、大阪で営業をした後、実家のカメラ店で独立しました。白黒フィルムからカラーへの移行期で、写真需要の高まりもあり、新店舗出店やハウスラボ設置など、業務形態の転換期でもありましたね。1979年に大阪で起きた三菱銀行人質強盗事件に衝撃を受け、カメラの知識を使って世の中に貢献したい、と思い付いたのが防犯カメラ製作でした。

しかし、当時の日本にはまだ定義さえなく、考えあぐねていたところ、アメリカのFBI(連邦捜査局)に防犯設備で先端を行く部署があると人づてに聞き、事件の2ヵ月後にワシントンの本部を訪問しました。アポなしの民間人、

しかも日本人。当然門前払いを受けました。困っていたところ、たまたま私を見かけた窓口の女性が「こんにちは」と日本語で話しかけてきた。聞くと、彼女は日系人で、祖父が広島県の祇園町出身だと言う。感激し、「私は祇園から川ひとつ隔てた横川の出身です」と言うと、その女性がとても喜び、上役の担当者との交渉役を買って出てくれた。そのおかげで貴重な資料をもらうことができたのです。とても運が良かったですね。

その後開発を重ね、8ミリフィルムを使う防犯カメラ技術が警察をはじめ世間で認められてきた。それが今につながっているのですから、人の縁はとても不思議で、ありがたいものだと思っています。

奥田 耕造さん (株)オクダカメラ社長/昭和40年卒  
 <平成18年5月25日 広島経済レポートより>

趣味の時間と言えば、キャリア20年の「へたくそゴルフ」ですが、四年前からは、私の実母と遊ぶことがオフタイムでしょうか。遊ぶといっても、レジャーに出かけるわけではなく、施設に入所している母のところに行き、ただただ一緒に時を過ごすのです。たおやかなその空気がとても心地いいんです。

父親を早くに亡くし、女手ひとつで姉と私を育ててくれた母は、50年間看護士をやっていました。とても気丈でむしろ気難しいタイプでしたが、02年1月2日に倒れてからは病院を転々と今の施設でお世話になって三年になります。今年七十四歳。以前の気難しさはどこへやら、すっかりかわいなおばあちゃんになりました。週



竹島 利光氏  
 中芝(株)社長

に三回は顔を出し、私のことを皆「おにいちゃん」と呼んでくれホムではすっかり有名です。四八歳にもなってもこんな呼び方をしようとするのはごく罕见的です。月に一回はうちに連れて帰り、妻の手料理と娘たちの笑顔に囲まれて過ごしてもらっています。

同じく「へたくそ」な私は「おにいちゃん」などときどき小言を言われていますが、今は「体が不自由になっても、息子は僕しからいいだろう(笑)」なんて言い返しています。先日は母の日でしたが、みんなから「竹島さんはいつも母の日ですわね」とか知られます。母は私の顔を見ると「嬉しいな」を三連呼。こんな休日もいいでしょう。

竹島 利光さん 中芝(株)社長 / 昭和51年卒  
 <平成18年5月18日 広島経済レポートより>

車の免許は持っているがマイカーを購入したことが無いので、三年間無事故、無違反、ゴルフもやらないし、人様に比べて行動範囲は狭いですが、携帯電話も持っておりません。撮り方が分からぬのでビデオも妻や子供任せです。自分でも時代に乗り遅れた、アナログ人間だと思っています。だから休暇は家で過ごすことが多いですね。

芝浦工大建築学科で製図や美術を学んだせい、大きな物ではなく、いたって小さく、精巧なものが好きでして、タクシードライバーでデザインしたもので、趣味としてはカメラ、万年筆、今はダイ香を取集めています。それも外国旅行や国内出張時に購入するのではなくて、カタログや専



小野 正博氏  
 ㈱広島タクシー社長

が兎角、今は二代目のネザランドドアーフ種で茶々丸といいますが、こんなに可愛いものはないですね。毎朝5時に起床し、7時に会社へ出掛けるまでの間は茶々丸と戯れています。オタク族の生活は、これからも続くでしょうね。

それは八年前からウサギを飼っています。最初はビーターラビット種で名前として、最初はビーターラビット種で名前が兎角、今は二代目のネザランドドアーフ種で茶々丸といいますが、こんなに可愛いものはないですね。毎朝5時に起床し、7時に会社へ出掛けるまでの間は茶々丸と戯れています。オタク族の生活は、これからも続くでしょうね。

小野 正博さん (株)広島タクシー 社長/昭和43年卒  
 <平成18年3月16日広島経済レポートより>

島市南区の病院で死去、70歳。広島市安佐北区出身。自宅は公表していない。前家と広交グループの合同葬は8日午前11時から広島市南区天州5の3の22、平安祭典広島東会館で。葬儀委員長は広島電鉄の大田哲哉社長。喪主は長男泰弘(やすひろ)氏。

広交グループの広島交通に60年4月入社。86年5月からグループを統括する広交本社の社長。04年6月から現職。日本バス協会副会長や広島県バス協会会長も務めた。



前 弘登氏(まえ・ひろ) 本(社)会(長) 5日、敗血症のため

## 広交本社会長

崇徳学園同窓会会長を四年間勤められ学園の発展に多大なるご尽力をいたいただきました。前 弘登前同窓会会長がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

## 計報

# 同窓会この二年



## 【平成17年】

- 11月11日 平成十七年度同窓会総会及び懇親会  
(於・広島全日空ホテル)
- ・平成十六年度活動報告
- ・平成十六年度収支決算(案)の承認
- ・平成十七年度収支予算(案)の承認
- 12月13日 国体優勝選手表彰  
(出席/奥田会長)

## 【平成18年】

- 2月28日 高等学校卒業生表彰式「優秀クラブ及び個人に記念品贈呈」  
(於・崇徳学園体育館)(出席/奥田会長)
- 3月1日 崇徳高等学校卒業式  
(於・崇徳学園体育館)(出席/奥田会長)
- 3月20〜22日 全国高等学校柔道選手権大会  
全国高等学校バレーボール選抜優勝大会応援  
(於・東京・武道館)(出席/奥田会長)
- 4月7日 崇徳中学校・高等学校入学式  
(於・崇徳学園体育館・講堂)(出席/奥田会長)
- 4月13日 崇徳学園歓迎会  
(於・広島ガーデンパレス)(出席/奥田会長・永井・清水・中川副会長)
- 4月24日 平成十六年度同窓会懇親会会計監査  
(出席/弘保・太田監査)
- 4月28日 正副会長会議・当番幹事慰労会  
(於・広島全日空ホテル)
- 5月20日 宗祖降誕会・開校記念日  
(出席/奥田会長・清水副会長)
- 6月2日 同窓会総会懇親会幹事引き継ぎ会  
(於・ホテルグランヴィア広島)(出席/奥田会長・中川・永井副会長)
- 6月7日 正副会長会議(於・崇徳学園本館応接室幹事会)(於・崇徳学園本館会議室)

- 6月14日 同窓会総会当番幹事との打ち合わせ  
(出席/中川副会長)
- 6月29日 会長選考委員会  
(出席/中川副会長・斉藤・増田幹事)
- 7月7・8日 崇徳学園関東支部総会  
(於・東京・ホテル機山館)(出席/奥田会長・田部事務局)
- 7月13日 会長選考委員会  
(出席/中川副会長・斉藤・増田幹事)
- 8月6日 原爆忌(出席/奥田会長)
- 8月8〜10日 全国高等学校総合体育大会応援(柔道・バレーボール)於・大阪市  
(出席/清水・中川副会長)
- 9月3日 安佐北支部発足会(出席/奥田会長)
- 9月12日 正副会長会議(於・崇徳学園本館応接室幹事会)(於・崇徳学園本館会議室)
- 9月15日 ポクシングインターハイ優勝報告会  
(於・広島ガーデンパレス)(出席/奥田会長・清水・中川・永井副会長)
- 9月22日 会長選考委員会  
(出席/中川副会長・斉藤・増田幹事)
- 10月13日 同窓会奨学生採用伝達式  
(於・崇徳学園本館理事長室)(出席/奥田会長)
- 10月19日 正副会長会議(於・崇徳学園本館応接室幹事会)(於・崇徳学園本館会議室)
- 11月1日 国体優勝選手表彰  
(於・崇徳学園本館応接室)(出席/中川副会長)
- 11月1日 平成十八年度同窓会会計監査  
(出席/太田監査・斉藤幹事)
- 11月4日 正副会長会議(於・RCC文化センター)幹事会(於・RCC文化センター)

## ボクシング競技優勝報告会



(左より) 信本監督、松尾部長、  
挨拶する福原徳光選手  
平成18年9月15日(金)  
於：広島ガーデンパレス

平成十八年九月十五日、広島ガーデンパレスで「ボクシング競技優勝報告会」が多数の来賓、広島県ボクシング連盟、学園関係者の出席のもと盛大に行われた。来賓祝辞に続き崇徳高校ボクシング部松尾部長から福原選手への紹介、信本監督より試合報告があり出席者全員が全国優勝を祝った。春の選抜大会ではおしくも準優勝、雪辱に燃えてのインターハイとなり、春に決勝で敗れた相手に勝利してのうれしい全国優勝となった。



平成十八年十一月一日、崇徳学園にて、学園と同窓会による福原徳光君の国体優勝選手表彰式が行われた。国体優勝選手表彰式の国体でも全国優勝を果たし、見事高校二冠を達成した。表彰式の挨拶の中で福原君は「大学に進学してもボクシングを続けていくつもりです。さらに上を目指して頑張り自分の夢を追いかけたい」と力強く抱負を語った。これからのチャレンジに期待をしたい。

# 中ガンバレ！崇徳健児！

本年度夏の全国高等学校総合大会(インターハイ)でボクシング競技 ライトウエルタ1級において福原徳光君が見事全国優勝を成し遂げました。さらに秋季国民体育大会少年の部に於いても全国の頂点をつかみライトウエルタ1級高校二冠に輝きました。

## 編集後記

全国でいじめに起因する自殺が相次ぐ中、崇徳学園ではそのような噂すら聞こえません。それは先達が築き上げられた建学の精神である「崇徳興仁」による人間育成の成果だと改めて感じます。